



# 測定結果

氏名 \_\_\_\_\_ ビグモリ 様

## 機器分析の結果

物質名	物質単体の印象	検出レベル	少ない			標準			多い		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
ジアセチル	・お酢のような酸っぱいにおい ・油っぽさと香ばしさもある ※30~50歳代の方から生じるミドル脂臭の原因物質と言われる	3.7				●					
1-プロパノール	・アルコール消毒液のようなにおい	-									
ヘキサナール	・草や青リンゴのような青っぽいにおい ・油っぽさもある	5.1					●				
1-ブタノール	・アルコール消毒のようなにおい ・絵の具のような油っぽさもある	1.0	●								
ヘプタナール	・草のような青っぽいにおい ・油っぽさもある	4.6					●				
トランス-2-ヘキセナール	・梅と杏仁豆腐が混じったような甘いにおい ・油っぽさもある	3.2			●						
1-ペンタノール	・除光液のようなにおい ・発酵した乳製品、チーズのようなにおいもある	5.9						●			
2-オクタノン	・洋梨のような甘いにおい ・油っぽさもある	2.0	●								
6-メチル-5-ヘプテン-2-オン	・洋梨と青リンゴが混じったような甘いにおい	3.1			●						
1-ヘキサノール	・カシスと青梅が混じったような甘いにおい	3.9				●					
ノナール	・スイカのようなフルーティーなにおい ・グレープフルーツの皮のような爽やかな渋さもある	2.9			●						
デカナール	・バクチーのような青っぽいにおい ・グレープフルーツの皮のような爽やかな渋さもある	-									
トランス-2-ノネナール	・草やカラムシのような青っぽいにおい ・牛脂のような脂っぽさもある ※50歳代以降の方から生じる加齢臭の原因物質と言われる	1.0	●								
2-ウンデカン	・すりおろしリンゴのようなフルーティーなにおい ・バクチーのような青っぽさもある	9.0									●
酢酸	・お酢のような酸っぱいにおい	2.8			●						
1-デカノール	・バクチーのような青っぽいにおい ・微かにレモンのような爽やかさと酸っぱさもある	4.0				●					
イソ酪酸	・ヨーグルトのような酸っぱいにおい ・発酵した乳製品のようなにおいと、油っぽさもある	3.7				●					
酪酸	・チーズと足の爪が混じったようなにおい ・酸っぱさもある	1.9	●								
イソ吉草酸	・チーズのようなにおい ・酸っぱさもある ※汗臭や足裏臭の原因物質と言われる	2.4	●								
吉草酸	・チーズと足の爪が混じったようなにおい ・酸っぱさもある	3.6				●					
3-メチル-3-スルファニルヘキサノール	・流し台に詰まった生ゴミのようなにおい ※硫黄のような脇臭の原因物質と言われる	3.4			●						
ヘキサノール	・腐った果物のようなにおい ・酸っぱさもある	2.9			●						
トランス-3-メチル-2-ヘキセン酸	・鉛筆と土が混じったようなにおい ※古い雑巾のような脇臭の原因物質と言われる	2.5			●						
オクタノール	・発酵した乳製品、チーズのようなにおい ・油っぽさもある	2.7			●						
ノナン酸	・絵の具や粘土のようなにおい ・油っぽさもある	1.8	●								

においは、様々な物質の総体として存在しますので、単一物質の多寡が「実際に人がどう感じるか」に必ずしも直結することはありません。そのため、機器分析の結果は参考程度に、嗅覚測定の結果を重視して下さい。

検出レベルは、体臭サンプル提供者グループとの比較により算出しています。

検出レベルの欄に「-」と記載されている場合は検出レベルが「1未満」のものです。

## ケア方法

## 対策方針

香料の影響が機器分析で比較的多く検出された物質もありますが、実際に人が嗅いで確かめる嗅覚測定で体臭が弱いことがわかっているため気にする必要はありません。

そのため、今以上のケアは不要と考えます。以下では汎用的な体臭ケア方法をご紹介しますが、それらは必須ではなく気になる場合のみお試しください。

## ビグモリ 様にお勧めのケア方法

## 体表ケア

## ■ 日中のケア

汗や皮脂はもともとほぼ無臭ですが、皮膚上に出てから時間が経つにつれ皮膚常在菌に分解されることにおいを発するようになります。そのため、汗をかいたら早めに拭きとることが最善の策と言えます。

その際、乾いたタオルより濡れタオルで拭くほうが効果的です。さらに市販の汗拭きシートは持ち運びが便利なこと、皮脂除去成分が含まれることから日中の体表ケアに最適と言えます。外出中気になった時に上半身全体をさっと拭いてください。においが強くないため、汗拭きシートは以下のようなドラッグストアで買える一般的な製品で問題ありません。

- ・エージーデオ24MEN(資生堂)  
無香料なので拭き取った後の臭いが気にならない、¥827~/30枚

[詳細はこちら](#)

- ・Biocore(マンダム)  
汗のべたつきをしっかりと拭き取れる、¥880~/30枚

[詳細はこちら](#)

## ■ 入浴時のケア

## ■ ボディウォッシュ

汗や皮脂に加え、古い角質や垢なども常在菌のエサとしてにおいの原因になります。そこで、1日1回、その日に蓄積した汚れをしっかりと洗い落とすことが重要です。上半身だけでなく、足裏・指の間、爪と皮膚の間にも汚れはたまりますので注意してください。

ただし、1日に何度もボディウォッシュを使用する、皮膚をゴシゴシ強くこするなど、“洗いすぎ”はよくありません。無害な菌が死ににおいのもととなる常在菌が増える、適度な皮脂がなくなると余計に皮脂が分泌されるなどし、かえってにおいが強くなる原因となる場合があります。そのため今後も1日1回の入浴頻度を継続してください。

入浴・ボディウォッシュのタイミングは、においが弱い状態で1日が始まるよう外出前が望ましいです。その場合、就寝前にも入浴される際はボディウォッシュを使用せずお湯で流すだけがおすすです。洗髪も同様です。

また、においが強くないためボディウォッシュも銘柄指定はありません。現在使用されている製品(銘柄不明ですが一般的な市販製品と想定)でも、他の製品でも問題ないと考えます。

## ■ 入浴方法

シャワーで済ませずバスタブにつかることで、毛穴が開き汗や不純物をより洗い流すことができます。そのため、体臭ケアの観点からはバスタブにつかることが望ましいです。また、運動習慣がないなど普段あまり汗をかかない生活を送っていると汗腺機能(血液から汗が生成される際に不純物をろ過する機能)が低下し、においのもとになりやすい”悪い汗”をかくとされています。バスタブにつかると発汗が促されるため、汗の質を良くするという点からもバスタブにつかることはおすすめです。毎日である必要はありませんので月に何度かバスタブにつかる時間を作ってみてはいかがでしょうか。

## 衣類

### ■ 効果的な洗濯方法

においが強くありませんので、洗濯頻度と洗剤(銘柄不明ですが一般的な市販製品と想定)もこれまで通りで問題ないと考えます。

### ■ 洗濯した衣類・寝具の保管方法

衣類の保管場所ではできるだけ湿気が少ない場所を選んでください。湿気が多い場所で保管すると雑菌が繁殖し、生乾きなどにおいの原因になります。せっかく正しい洗濯方法でにおいを消してもこれでは意味がありません。同じく湿気の観点から、保管時はぎゅうぎゅうに詰め込まず服と服の間に通気スペースを取る、週1回程度換気する、扇風機を当てたりすることも効果的です。市販の除湿剤を活用すればさらに湿気を減らすことができます。

仕事着/オシャレ着など家で洗えない衣類は一晩しっかり干してからクローゼットへ入れる、定期的にクリーニングに出すことが望ましいです。

また、衣類は長期間着用すると繊維の奥に皮脂等が蓄積し、家庭洗濯では落としきれない状態になります。こうなると、その皮脂を菌が分解・代謝することでにおいが発生し、「たとえ体からにおいを発していないくてもそもそも服が臭い」という状況になってしまいます。そのため衣類、特に皮脂等が付着しやすい肌着や下着は定期的に買い換えて頂くと安心です。

## 最後に

この度は odorate をご利用頂きありがとうございました。  
どんな人にも少なからず体臭はあり、完璧な無臭状態になることはできません。そうであれば客観的な評価や原因を把握し、適切なケアを行うことが安心に繋がります。

今回の結果から、全く対策をしない状態であっても上半身から強いにおいが出ていないことがわかりました。そのため特別な体臭ケアは必要ありません。  
一方で、大量にかいた汗を放置する、忙しくて入浴できないなど、悪条件が重なると一時的ににおいが強まりその日は周囲の方がにおいを感知することは誰にでも起こり得ますので、こうした条件が揃わないよう上記ケア方法や毎日入浴など簡易なことに気を付けて頂ければと思います。

自身のにおいはわかりづらい一方で、自身のにおい一番近いのは自分の鼻です。気になるあまり意識的に嗅ぐとご自身のにおいを感じたり、周囲の方の感じ方が気になることはあると思いますが、ビッグモリの体臭は弱く周囲の人が不快に感じるものではありませんのでご安心ください。

### 【補足】

においについてご家族から指摘された経験があると調査票で伺いましたが、今回の結果から、一般的な方の体臭と比較し強い、あるいは不快なおいがあるわけではないことがわかりました。そのため、空間のにおいや衣服に付着したにおい(香料含む)などビッグモリの体臭(皮膚から発せられるにおい)以外のにおいを指摘されていた可能性、上記のような悪条件が重なりその日またまたにおいが強かった可能性などが考えられます。  
そのため、今回の結果を念頭に、ご自身の体臭について深く心配されないで頂ければ幸いです。また、事情を説明した上でご家族や親しいご友人など親身になって下さる方にも改めて確認してもらう等も安心材料になると考えます。